

授業科目(ナンバリング)	介護基礎学Ⅰ (DA103) (実践的教育科目)			担当教員	久田 貴幸 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>専門職として介護福祉を展開する際には、科学的根拠に基づいて、今後予測しうる様々な状況を想定していく能力が必須である。その基礎として、人体の構造や心身機能に関して基本的事項を理解し、移動、睡眠、身じたくや入浴、清潔保持、食事、排泄、終末期等の介護行為に関して心身から両面からとらえることができ、安全面での留意点や心理的配慮ができるようになる。</p> <p>本講義では、<u>介護を必要とする人の生活支援を行うため、介護実践の根拠となる人間の心理、人体の構造や機能を理解する学習</u>とすることもねらいとしたい。</p>							①③⑦⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	基礎的な身体やこころのしくみを踏まえ、障害や疾病に起因する背景を説明できる。				・定期試験 ・小テスト	40% 10%	
情報収集、分析力	自分の身体に起こる様々な現象を気付き、その機序を調べ、考察できる。				・定期試験	10%	
コミュニケーション力	人間の諸臓器の解剖・生理を理解し、それぞれの関連性を説明できる。				・定期試験 ・授業への参加	10% 10%	
協働・課題解決力	人間の身体に起こる様々なトラブルについて、その機序を理解し、主な対処方法を説明できる。				・定期試験 ・小テスト	10% 10%	
多様性理解力							
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験の成績を70%とし、筆記試験を行う。 ・小テスト(20%)は、4回実施する予定である。授業内で説明した重要項目について理解度の確認を行う。 ・授業への参加(10%)、授業内で行う個人作業やグループワークへの取り組みを総合的に評価する。 ・小テストの解説及び質問に対するフィードバックは授業中に適宜行う。 							
授業の概要							
<p>福祉現場で介護業務及び相談業務の経験を持つ教員が担当し、グループワークやディスカッション等を活用し、人間の日常生活の基本となる、移動、睡眠、身じたく、入浴、清潔保持、食事、排泄、終末期等に関連する介護技術の根拠となる知識についての理解を深められる授業を展開する。また、ポートフォリオやレスポンス等を活用した双方向型の授業を取り入れていく。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：介護福祉士養成テキスト 『こころとからだのしくみ』 建帛社</p> <p>参考図書：系統看護学講座／解剖生理学／医学書院</p> <p>指定図書：介護福祉士養成テキスト 『こころとからだのしくみ』 建帛社</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>ただ単に、介護技術を提供するだけでは、福祉専門職とはいえない。専門的知識や技術を用いて対象者の状況にあわせた介護を展開してることが重要である。そのための根拠となる身体の構造や働きや認知機能などを学び、介護過程をはじめとする、福祉実践における支援の基礎をしっかりと身につけて欲しい。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	<u>こころとからだのしくみⅠ</u> <u>こころのしくみの理解①</u> (人間の基本的欲求と尊厳)	人間の基本的欲求と尊厳について理解し、介護の基本となる基本的な構えについて学ぶ。	復：人間の基本的欲求についてまとめる
2	<u>こころとからだのしくみⅠ</u> <u>こころのしくみの理解②</u>	こころの動きとしくみについて、学習、記憶、思考、感情、意欲、適応、こころと社会の問題など、人間特有の高次な機能の上に、日頃の日常の営みがあることを学ぶ。	予：猿と人間の違いについて学生自身でまとめておく 復：要点整理
3	<u>こころとからだのしくみⅠ</u> <u>からだのしくみの理解①</u>	ストレスとこころとからだ、からだを動かすしくみについて学ぶ。	予：学生自身が過去に大きかったと思うストレス体験についてまとめる
4	<u>こころとからだのしくみⅠ</u> <u>からだのしくみの理解②</u>	人体の構造と機能の基礎的な知識理解のための、生命兆候とされるバイタルサインの意味を理解できる。呼吸、体温、意識、脈拍、血圧について学ぶ。	予：呼吸と体温、意識、脈拍、血圧の測定方法について調べる 復：要点整理
5	<u>こころとからだのしくみⅠ</u> <u>からだのしくみの理解③</u>	人体の構造と機能の基礎的な知識理解のための、人間の運動に関する解剖・生理学について学ぶ。 (実務家ゲストスピーカーによる講義)	予：の測定方法について調べる 復：要点整理
6	<u>こころとからだのしくみⅡ</u> <u>食事に関連したこころとからだのしくみ①</u>	食事に関連して、体をつくる栄養素、1日に必要な栄養量、水分量など基礎知識、食べることの生理的意味について復習する。食欲・美味しさを感じるしくみやのどが渇くしくみについて理解する。	予：学生の実家の雑煮の自身について調べる 復：要点整理
7	<u>こころとからだのしくみⅡ</u> <u>食事に関連したこころとからだのしくみ②</u>	食べるしくみについて、食物を口まで運ぶ時の視覚の情報、手の機能、姿勢と運動について学ぶ。 (実務家ゲストスピーカーによる講義)	予：事前調べ 復：消化、吸収についてまとめる
8	<u>こころとからだのしくみⅡ</u> <u>食事に関連したこころとからだのしくみ③</u>	食事に関連して、嚥下障害、誤嚥のある人の食行動や、低血糖・高血糖にある人や、食欲不振、食事制限が必要な人の食行動など機能低下や障害が及ぼす食事への影響について学ぶ	予：事前調べ 復：糖尿病を有する人の食事の留意点についてまとめる
9	<u>こころとからだのしくみⅡ</u> <u>食事に関連したこころとからだのしくみ④</u>	食事に関連して、食べることに関する機能低下や障害の原因や、それが及ぼす食事への影響について学ぶ。	予：嚥下困難が及ぼす影響について調べる 復：要点整理
10	<u>こころとからだのしくみⅡ</u> <u>口腔清潔に関連したこころとからだのしくみ①</u>	口腔内を清潔に保つ意味、口腔ケアの定義と目的を学ぶ。また、口腔をはじめとする、上気道のしくみとはたらきおよび義歯について学ぶ。	予：口腔の働きについて調べる 復：要点整理
11	<u>こころとからだのしくみⅡ</u> <u>口腔清潔に関連したこころとからだのしくみ②</u>	口腔の清潔法、留意点、口腔ケアの留意点など、その実際を学ぶ。また、誤嚥性肺炎や咀嚼障害、機能低下や口腔ケアなど、口腔に関する機能低下と障害について学ぶ。(実務家ゲストスピーカーによる講義)	予：事前調べ 復：口腔機能と誤嚥性肺炎の関連についてまとめ
12	<u>こころとからだのしくみⅡ</u> <u>入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみ①</u>	基礎知識として、皮膚の構造や機能について学ぶ。また、皮膚の汚れや発汗のしくみについても学び、清潔保持の生理的な意味について学ぶ。	予：皮膚の生理機能について調べる 復：要点整理
13	<u>こころとからだのしくみⅡ</u> <u>入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみ②</u>	入浴、清潔保持に関連して、入浴や清潔保持に関する機能低下や障害の原因と、その影響について学ぶ。	予：学生自身の清潔行為のこだわりについてまとめる
14	<u>こころとからだのしくみⅡ</u> <u>身じたくに関連したこころとからだのしくみ①</u>	基礎知識として、爪、毛髪、口腔等の構造と機能について学び、身じたく行為の生理的な意味や心理的な意味から、セルフケアについて考えていく。	予：学生自身の身じたくのこだわりをまとめる 復：要点整理
15	<u>こころとからだのしくみⅡ</u> <u>身じたくに関連したこころとからだのしくみ②</u>	身じたくに関連して、生活行為としての身じたくについて理解を深める。 (実務家ゲストスピーカーによる講義)	予：事前調べ 復：自分で身じたくができなくなる要因について調べる
16	定期試験		